

プラス記事 19%減、ニュートラル・マイナス記事 15%減 「人物」の換算値増加企業が浮上 ホンダ、開発部門統合が話題に

2月度のプラス評価は71億1368万円、ニュートラル・マイナス評価は43億5801万円だった。前月と比較するとプラス換算値は19%減、ニュートラル・マイナスは15%減だった。2月も前月と同様に人物コラムなどでのトップの露出が多かった企業の順位が上昇し、上位20位のうち5社で「社長・会長」の換算値比率が最も高かった。そのほか所属スポーツ選手が取りあげられて「人」の換算値が伸びた企業も目立った。

1位トヨタ自動車は、2日の朝日別刷り「突破する力」に村田久武レーシングチーム代表が登場して「人」の換算値が27%を占めた。ほかにもペダルの踏み間違いによる加速抑制機能搭載車の今夏発売や、静岡県に建設予定の「つながる街」構想など話題が豊富だった。

9位ホンダは、四輪の開発を本社に統合する話題が注目された。朝日が17日に第一報を掲載。18日に子会社の本田技術研究所が持つ四輪車の開発部門を

ホンダ本体に吸収すると発表し、日経と読売が19日、毎日が20日に記事化した。日経は開発の効率化による採算の改善を組織再編の背景に挙げ、「創業者の本田宗一郎氏らが生み出した『聖域』にメスを入れ、一段の改革を進められるか正念場となる」と解説した。

17位任天堂は2カ月連続のランクインとなった。読売は連載の「ポケモンスポーツ大百科」のほか、「文化時評」でゲームクリエイターの宮本茂氏が国の文化功労者に選出されたことを取りあげた。また、USJに今夏オープン予定の新エリア「スーパー・ニンテンドー・ワールド」のPRイベントをニューヨークで開催したことも注目された。

19位三菱UFJ銀行は、東南アジアの配車サービス最大手クラブ社への出資が報じられ、アジアでの金融サービス事業の強化を目指す動きに関心が集まった。20日に日経と産経が第一報を掲載し、25日の正式発表を産経以外の4紙が翌日に記事化した。

プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	トヨタ自動車	230,594	朝日「突破する力」でレーシングチームの村田久武氏を紹介。「人」27%。
2	ナイキ	214,862	世界陸連の新ルールで厚底シューズ『ヴェイパーフライ』が条件付き使用可に。
3	JR東日本	146,209	新幹線のチケットレス販売を3月から導入。埼京線で痴漢通報アプリの実験。
4	三井住友海上火災	127,522	原典之社長がMS & AD社長に決定。日経「未来面」に登場。「社長・会長」97%。
5	大成建設	116,946	読売「LEADERS 経営者に聞く」に山内隆司会長が登場。「社長・会長」58%。
6	ビックカメラ	91,142	日経「MyStory」にソフトボールの上野由岐子選手が登場。「社員」78%。
7	富士通	89,952	読売「就活ON!」に本多達也UIデザイナーが登場。「社員」62%。
8	NTTドコモ	83,635	メルカリと提携を発表、スマホ決済で相互利用へ。「販売」45%、「社員」27%。
9	ホンダ	82,377	四輪開発を本社に統合すると発表、生産・営業まで一貫体制へ。「技術」29%。
10	帝国ホテル	82,029	日経で設計者のフランク・ロイド・ライト特集。ほか読売の東京五輪特集など。
11	ツイッター(米)	79,123	日経「ツイッターここに注目」2回。ほか新型コロナ関連のツイートなど。
12	メルカリ	73,285	NTTドコモと提携を発表、スマホ決済やポイントサービスを共通化。「販売」57%。
13	LINE	69,911	日経「すっきり生活」で『LINEペイ』を解説。「商品」73%、「社長・会長」9%。
14	セブン&アイHD	68,230	米コンビニの買収交渉へ。読売が鈴木敏文名誉顧問インタビューを掲載。
15	アップル(米)	66,814	読売「乱流 巨大IT」にティム・クックCEOが登場。「社長・会長」38%。
16	ゴールドマン・サックス証券(日)	59,688	読売「LEADERS 経営者に聞く」に持田昌典社長が登場。「社長・会長」94%。
17	任天堂	58,827	読売で「ポケモンスポーツ大百科」連載。USJの新エリアを米ニューヨークでPR。
18	イオン	57,897	朝日が岡田元也社長インタビューを掲載。レジ袋有料化を4月から前倒し導入。
19	三菱UFJ銀行	57,858	東南アジアの配車サービス最大手と資本業務提携。「提携・合併」43%。
20	日産自動車	55,487	毎日がハンズオフ機能搭載の『スカイライン』を紹介。「商品」32%、「販売」26%。